

科目名 (科目番号)	臨地実習Ⅳ (公衆栄養)	教員名 増野 弥生	学科等	保健栄養	選択	履修年次	4
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
	授業形態		実験・実習	オフィスアワー	D308研究室		
授業概要	県内の保健所や保健センター・健康増進センター等で、公衆栄養学分野の臨地実習を行い、地域住民の健康増進等計画とその実施方法について研修し、実践活動の場での問題や課題を通して、栄養評価・判定に基づくマネジメントのための専門的知識と技術の統合を図る。内容：①管内・地域の現況 ②組織及び機構 ③公衆衛生行政の概要 ④管理栄養士の業務の概要 ⑤地域保健における管理栄養士業務体制の整備 ⑥特定給食施設への栄養管理指導 ⑦市町村に対する栄養改善事業支援と連絡調整 ⑧人材育成・活用 ⑨健康危機管理など						
目的・目標	目的:公衆栄養学Ⅰ・Ⅱおよび地域栄養計画論で習得した知識を基礎に、実際の保健所、保健センター業務に参加しての実体験を通して、公衆栄養の改善に必要なサービス提供に関する技術等の実践能力を身につけることができる。 目標:幅広い業務内容、実践活動の場での位置づけを確認する。法律の根拠、問題解決への取り組みや適切な実務を行うための専門的な知識の統合、技能を修得し理解する。						
準備学習							
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容				
	<到達目標> ◇保健所または市町村センターにおける行政栄養士の仕事内容と役割を理解する。 <学習内容> 実習にあたっては実習先の保健所または保健センターの実習指導者の下で行われ、実習内容は保健所のスケジュールに素って体験学修を行う。 ◇オリエンテーション：保健衛生・公衆栄養活動など概要 ◇部門内、関連部署への挨拶 ◇保健所の概要 ◇地域指導課の概要 ◇保健市町村栄養業務について ◇管内の概要 ◇健康管理課の概要（地域診断・政策評価・専門的栄養指導・食環境整備） ◇行政栄養士業務について（具体的事業の紹介等） ◇食に関わる様々なボランティアに参画リーダー養成 ◇市町村栄養改善事業への参加１：準備から集団・個別の栄養教育の実際を体験する （老成人関係事業：糖尿病教室・骨粗鬆症予防教室・健康まつり・健診時の事後指導等） ◇市町村栄養改善事業への参加２：（母子関係事業：１歳半健診・３歳児健診・母親学級等） ◇専門的栄養教室（消化器難病のつどい等） ◇給食従事者研修会に参加 ◇調理師の再教育講習会に参加 ◇実習のまとめ（これからの行政栄養士のあり方を踏まえて） ※参加者：保健所関係職員 市担当職員・保健所主催健康づくりイベントへの参加 保健所で当該事業がない時期は、市町村栄養改善事業を組み込む。 *臨地実習Ⅳを履修する学生は、臨地実習総合演習Ⅲを履修すること。 *実習終了後、報告会で発表すること。						
成績評価の方法・基準	実習先の評価、実習ノート、実習報告会等を総合的に評価する。実習時間は45時間以上を満たしていること。						
教科書							
参考図書							
教員からのメッセージ	臨地お実習Ⅰ・Ⅱ、Ⅲとは違い、行政栄養士の役割、健康づくり対策などを具体的に学ぶことができる科目です。調べ学習を十分にを行い、積極的に取り組むことが大切です。						